

2008 年度

科目名 社会心理学 A	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 井上 徹
授業テーマ 人間関係のダイナミックスを考える		
授業の概要と目標 人は、他の人との相互作用の中で生活をしています。周囲の人々から影響を受け、また逆に周囲の人々に影響を与えています。こうした人と人のダイナミックな関係の中で、我々の心理がどのように揺れ動いているのか、心理学という科学の立場から明らかにしていきます。この授業では社会的態度と行動に焦点を当て、それを規定する文化的要因から態度の諸理論、援助と攻撃の行動までを概説します。		
評価方法 筆記テストの成績（80％）＋ 提出を求めるレポート（20％）		
テキスト ワークショップ人間関係の心理学	著者 藤本忠明・東正訓	出版社 ナカニシヤ出版
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1．社会心理学とは 人は、人にいかに影響されやすいか。 2．社会心理学の歴史 三人寄れば文殊の知恵。個人を離れて「集団の心」はあるか。 3．文化と社会化（1） なぜドイツの民衆はナチスを受け入れたか。 4．文化と社会化（2） 「風土」が人を作る。キャンペーン型稲作が日本人を作った。 5．文化と社会化（3） 日本人のパーソナリティの深層。阿閼世コンプレックスとは。 6．文化と社会化（4） カルチャーショックの心理。異文化への迎合と受け入れ。 7．社会的態度の心理（1） 社会的態度とは。陽気な人も、陰気な人も阪神ファン 8．社会的態度の心理（2） 人がものを判断するときの「ものさし」の研究。 9．社会的態度の心理（3） 心理的バランスを求め、行動にあわせて態度も変わる。 10．態度と行動の心理（1） 「面白くない作業」の報酬は少ないほうが良い。 11．態度と行動の心理（2） 「今度の金曜日に映画にいくつもりある？」 12．態度と行動の心理（3） 説得の技法と悪徳商法から身を守る方法 13．態度と行動の心理（4） 流行と流言の心理 14．援助と攻撃（1） 周りに人がいるほど、助けてもらえない。 15．援助と攻撃（2） 思いやりと援助行動		